

広報論 I

科目ナンバリング SOC-231
選択 2単位

吉野 ヒロ子

1. 授業の概要(ねらい)

コーポレート・コミュニケーションには、広告・プロモーション・広報などさまざまな活動があります。この講義では他の活動も視野に入れつつ、広報について学びます。

春学期は、広報論の基本的な考え方について、事例を交えながら紹介します。

2. 授業の到達目標

- ・「広報」の影響力や機能を、社会学の視点から理解する
- ・自分の生活を振り返り、マスメディア、インターネット等多角化しているメディアの影響を考える
- ・メディア・リテラシーを培い、コミュニケーションの難しさを考える

3. 成績評価の方法および基準

教場試験50%(全持ち込み可)、自筆のレスポンスペーパー50%(10回以上出席して毎回提出すること)から総合的に判断します。

4. 教科書・参考文献

教科書

伊吹勇亮ほか 『広報・PR論』 有斐閣ブックス

ほか教場で指示

5. 準備学修の内容

・個々の課題についてはその都度教場で指示します。

・企業広報やマーケティング・コミュニケーションに関するニュースや記事を日々チェックし、記録しておく習慣をつけてください。

6. その他履修上の注意事項

・毎回レスポンスペーパーを課します。書くのが苦にならない人、書くのが苦手だが改善したい人を歓迎します。

・レスポンスペーパーのうち、興味深いものは次回講義冒頭で、個人情報伏せて紹介させていただきます。

7. 授業内容

- 【第1回】 講師自己紹介と今後の講義について
- 【第2回】 広報／パブリック・リレーションズとは
- 【第3回】 ステークホルダーと組織の社会的責任
- 【第4回】 組織のレピュテーション(評判)
- 【第5回】 組織と広報・PR
- 【第6回】 広報・PRの戦略立案・実行・評価
- 【第7回】 メディアとメディア・リレーションズ
- 【第8回】 マーケティングPR
- 【第9回】 インターネットと広報・PR
- 【第10回】 インバスター・リレーションズ(IR)
- 【第11回】 インターナル・リレーションズ
- 【第12回】 危機への対応
- 【第13回】 行政広報
- 【第14回】 まとめと教場試験
- 【第15回】 教場試験講評